

貯 法：遮光し、室温保存

使用期限：3年（ラベルに表示の使用期限を参照すること。）

注 意：衣類、流し等に付着すると黄色に変色し、脱色しにくくなるので、直ちに水で洗い流すなど注意すること。

承認番号	22000AMX01617
薬価収載	2008年11月
販売開始	2008年11月
再評価結果	1983年4月

## 外用殺菌消毒剤

## アクリノール水和物原末「マルイシ」

## 日本薬局方 アクリノール水和物

## 【組成・性状】

## 1. 組成

本品1g中 日局アクリノール水和物1g 含有。

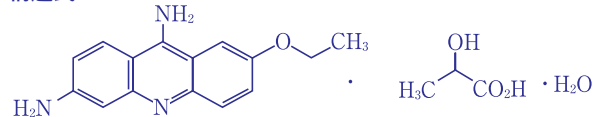
## 2. 性状

黄色の結晶性の粉末である。

水、メタノール又はエタノール（99.5）にやや溶けにくい。

本品1gを水100mLに溶かした液のpHは5.5～7.0である。

構造式：



## 【包装】

25g

## 【主要文献】

- 1) 熊谷 洋他：臨床薬理学大系，第14巻，118（1966）
- 2) 羽野 壽他：新しい薬理学，356（1980）
- 3) 高木敬次郎他：薬物学，654（1984）

## 【文献請求先】

丸石製薬株式会社 学術情報部  
〒538-0042 大阪市鶴見区今津中2-4-2  
TEL.0120-014-561

## 【効能・効果】 【用法・用量】

効能・効果	用法・用量	希釈倍数
化膿局所の消毒 泌尿器・産婦人科術中術後、化膿性疾患（せつ、よう、扁桃炎、副鼻腔炎、中耳炎）	0.05～0.2%の液として使用する。	本品を500～2000倍に希釈して用いる。
口腔領域における化膿局所の消毒	0.05～0.1%の液で含嗽する。	本品を1000～2000倍に希釈して用いる。

## 【使用上の注意】

## 1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
皮膚 <sup>注1)</sup>	潰瘍、壊死、塗布部の疼痛・発赤・腫脹等
過敏症 <sup>注2)</sup>	過敏症状

注1) このような症状があらわれた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。

注2) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

## 2. 適用上の注意

外用にのみ使用し、内服しないこと。

## 【薬効薬理】

アクリノール水和物はグラム陽性・陰性菌に有効で、特に連鎖球菌、ウェルシュ菌、ブドウ球菌、淋菌に対し殺菌作用を示し、その作用機序は、生体内でイオン化して、その陽イオン部分が細胞の呼吸酵素を阻害するといわれている。また、生体組織に対する刺激性は、ほとんどなく、血清や蛋白質の存在下でも殺菌力は低下しない。<sup>1)～3)</sup>

## 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：アクリノール水和物（Acrinol Hydrate）

化学名：2-Ethoxy-6, 9-diaminoacridine monolactate monohydrate

分子式：C<sub>15</sub>H<sub>15</sub>N<sub>3</sub>O・C<sub>3</sub>H<sub>6</sub>O<sub>3</sub>・H<sub>2</sub>O

分子量：361.39

融点：約245℃（分解）

製造販売元

丸石製薬株式会社

大阪市鶴見区今津中2-4-2